

長浜市シート長寿命化修繕計画

令和4年9月

長 浜 市

建 設 課

目次

1. 対象施設	1
2. 計画期間	2
3. 基本方針および短期的な数値目標	2
4. 対策の優先順位の考え方	3
5. その他	3
定期点検について	3
対策予定一覧表	4

1. 対象施設

本計画の対象施設は、表 1-1 に示すとおりとする。

表 1-1 シェッド等の対象施設

令和 4 年 4 月 1 日現在

施設名			路線名	設置 年度 (西暦)	延長 (m)	幅員 (m)	備考
No	シェッド等名	(フリガナ)					
1	樺坂 1 スノーシェッド	ツバキカ 1 スノーシェッド	市道樺坂中河内線	1980	72	10.6	
2	樺坂 2 スノーシェッド	ツバキカ 2 スノーシェッド	市道樺坂中河内線	1979	66	8.0	

2. 計画期間

本計画は、5年に一度の定期点検を踏まえ、メンテナンスサイクルの取り組みを着実に進めるために、今後5年間を対象とした計画とする。ただし、点検結果等を踏まえ、適宜、更新を行うものとする。

3. 基本方針および短期的な目標

○撤去・更新

施設の撤去に伴う迂回路整備や機能縮小などの検討を、自治会および関係機関と協議のうえ、社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路の整備状況、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用等を考慮し、実施することを目標とする。

○新技術等の活用

2巡目の定期点検からすべての施設で新技術の活用を検討する。

管理するすべての施設について、修繕や点検等に係る新技術等の活用の検討を行うとともに、費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目標とする。

○費用縮減

計画的に予防的な修繕を行うことで維持管理費用が縮減できることから、予防保全に転換し、コスト縮減を見込む。

修繕を行うすべての施設で新技術の活用を検討しコスト縮減を図ることとする。

4. 対策の優先順位の考え方

シェッド等は、施設の特徴から、第三者被害のおそれがある変状が認められた場合は応急的に措置を実施するなど、原則、対策が必要と判断された施設については、対策を実施するものとする。

ただし、点検結果により安全性を確認したうえで、道路管理者の判断により優先順位を決定し、実施するものもある。

5. その他

○定期点検について

定期点検は、5年に一度近接目視による定期点検を継続的に行い、点検・診断の結果を適切に集積し、修繕等に反映させることで、「メンテナンスサイクル」を確立する。

なお、本計画は最新の定期点検結果により、必要に応じ更新するものとする。

長浜市シート等修繕計画対策予定一覧表

【シート】

令和4年4月1日現在

施設名		路線名	延長 (m)	幅員 (m)	健全度	実施時期							
No	シート等名					直近	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
					判定区分								
1	樺坂1スノーシート	樺坂中河内線	72	10.6	II					△			
2	樺坂2スノーシート	樺坂中河内線	66	8.0	II					△			

※点検実施時期に△、設計実施時期に○、工事实施時期に■を示しています。
点検結果により、適宜、見直しを行います。